

## 平成29年度第3回学校運営協議会議事録

1 日 時 平成30年1月19日（金）15:00～16:30

2 場 所 長狭高等学校 会議室

3 参加者 出席者11名（欠席者4名）

この他に千葉県教育委員会から1名、本校職員9名

4 司 会 早川教頭（全体）、野田会長（協議等）

5 次 第

(1) 開会の言葉

（鈴木副会長）

(2) 会長挨拶

(3) 校長挨拶

(4) 千葉県教育委員会挨拶（教育庁教育振興部生涯学習課副主幹）

(5) 第2回学校運営協議会議事録承認

司 会 第2回学校運営協議会議事録について、承認いただけますでしょうか。

全委員 承認

(6) 協議

ア 平成29年度学校評価について

委員A ・評価はそれぞれがするものなので、いろいろな意見が出てくるのは仕方のないこと。全体としては良い評価なのではないか。

委員B ・授業評価アンケートは生徒が回答したものか？→生徒が回答している。  
・生徒の率直な意見をもっと具体的に聞くアンケートを。保護者の回答は厳しいものもあるが、甘くなる傾向にあると思う。

委員C ・進路によって、家庭の考えや取り組みが異なってくる。  
・行事については、毎年ほぼ同じ傾向である。全体的には例年通りの結果である。  
・自由記述はなかなか書きにくいものなので、その意見を大切にしてほしい。

委員D ・長狭高校の評価を見ると、保護者や子どもたちは満足している方が多いと思う。  
・生徒アンケートで「ふつう」という項目の扱いについて、真ん中の30%の扱いをどうすればよいのか、検討してはいかがか。

委員E ・保護者アンケート10番、学校行事に興味あるかという回答について、3割の方が興味がないグループにあり、過去5年あまり変化がないのが気になった。  
・教員のアンケートについて、特に施設関係について否定的な回答が多くなっている。生徒の安全のためにも、気にしなければいけない。  
・保護者の自由記述で、授業、頭髪検査について具体的なお意見をいただいた。

委員F ・自由記述により、具体的なお意見を聞くことができるのでありがたい。  
・生徒がなぜ授業に満足しないのか、を検証していく必要がある。  
・生徒会活動をやりたがらない子どもが増えている。ボランティア等も同様。  
今後どのように指導していくかが大事な点である。

委員G ・アンケート結果がここ数年頭打ちになっている。ここから先どうするか。  
・結果がすぐに目に見える形で出てくることはなかなかない。

- ・教員の結果は下がっているが、教員側の見方が厳しくなっている。
  - ・生徒のアンケートの内容に関して、わかりやすさと教員の熱意について問う項目を検討してはどうか。
- 委員H
- ・生徒のアンケートについて、なかなか判断がつかない生徒もいるので、「ふつう」の項目があってもよいと思う。生徒の目がとがっていない。先生方のかかわり方、指導がいい方向に回ってきている。
- 委員I
- ・職員アンケートについて、職員個人の自己評価なのか、学校全体の職員の評価なのか。
  - ・生徒のアンケートについて、「先生は〇〇してくれない」が多い。生徒自身の自己評価を真剣に取り組ませることができるか。次年度につながるものにしていただきたい。
- 回答
- ・職員アンケートの評価が下がっている件。
    - 昨年度の職員アンケートの評価は高く、生徒、保護者アンケートとのギャップがあった。この結果を踏まえて、今年度の回答はよく考えるように連絡していた。
  - ・生徒からのアンケートでも、記述式を取っている。
    - 生徒一人あたり四人までの教員を選択し、自由に記述させている。その用紙は各教員に渡している。生徒・保護者全体の9割が、肯定的な記述、残り1割が要望。
  - ・授業中に問題を間違える教員について。
    - 一名の保護者からご意見をいただいた。こちらでもどの教員か検討はついている。その教員の生徒からの評価はなかなか高評価を得ている部分もある。一つのミスだけですべてを判断することはできない。ご承知おきいただきたいと思う。
  - ・生徒会活動の継続について
    - 生徒会活動はどんどん伸びてきている。その活動の過程で色々なことがあったことと思われる。
  - ・学校行事への保護者の興味
    - これからもどんどん興味をもってもらいたい。
  - ・生徒アンケート「ふつう」について
    - 検討していく。5年間、ほとんど同じような結果になっているので、アンケート内容や回答の仕方を変更してもよいと考える。

#### イ 平成29年度学校経営について

(校長より)

- ・(学力向上について)

対話的・協働的な活動を取り入れた活動の具体例として、国語の俳句の授業では、本校のWi-Fi環境と生徒のスマートフォンを利用し、調べ学習し、俳句を創作するという授業、日本史・世界史の授業においても同様にグループで調べ学習や話し合いを

行っている。Wi-Fi 環境を利用した、工夫した授業を行う教員が増えてきた。また、生物ではジグソー法という授業方法を取り入れ、グループの中で、生徒が説明をするというような生き生きと活動する授業が増えてきている。

・(進路実現について)

先日センター試験が行われ、大学一般入試はこれから始まる。推薦入試、就職、専門学校の結果については、資料のとおり。

・(共存・慈愛について)

地域連携の取組は、資料のとおりであるが、「生活と医療福祉」という弱者への理解をはかるための授業があり、本校の柔道部が、試合で校外に出たときに足の悪い方を助けたということもあった。

・(精神力涵養について)

部活動はますます盛んになっている。しかし、医療・福祉の7限目の授業があり、部活動の活動時間の確保が課題である。

・(地域連携について)

後ほど資料をもとに説明がある。

・(定時制について)

夜間の安全な登校、積極的な教育相談を行っており、いじめは0。中学時代不登校であった生徒も全員登校できている。また、今年度は4年ぶりに修学旅行を実施した。

その他

(校長より)

- ・学校運営協議会について、来年度以降は人数を半減し、資料についても簡素化し、反対に機動力を持つような運営委員会にしていきたいのだが、いかがか。  
→承認。

(7) 報告

ア 職員の採用その他任用に関する事項について

- ・採用校2校目・3校目の若手教員を要望。
- ・主任を委嘱できる職員を要望。
- ・事務を担当できる非常勤講師・実習助手を要望。
- ・部活動に指導力があり、熱意にあふれる職員を要望。
- ・加配の措置、公募制度の検討。

イ 平成29年度の地域連携の取組(全・定)について

- ・資料参照

ウ 平成29年度の進路状況(全・定)について

- ・資料参照

(8) その他

事務局から、本会議の議事録確認のお願い。

(9) 閉会の言葉

(鈴木副会長)